

「履歴書」の記載要領

1. 共通事項

提出書類は、ワープロソフトを用いて作成することとし、履歴書、業績目録は別添の様式に準じてA4版として下さい。なお、各欄のスペースは適宜調整して下さい。

2. 履歴書

(1) 年齢は、この履歴書の記入日現在における満年齢を記入して下さい。

(2) 学歴の欄には高等学校卒業以降の学歴を記入して下さい。

a. 医師免許を有する場合には、取得年月日と医籍登録番号を記入して下さい。

b. 学位の欄には学位名の次に当該学位を授与した大学名を（ ）内に記入して下さい。

例：昭和59年3月 県立〇〇高等学校卒業
昭和59年4月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成 2年3月 同上卒業
平成 4年4月 〇〇大学大学院医学研究科（〇〇系，〇〇学専攻）入学
平成 8年3月 同上修了

(3) 資格の欄には、学会専門医・指導医等の資格を記載して下さい。

例：平成15年 日本〇〇学会〇〇専門医（第〇〇〇〇号）

(4) 職歴の欄には、職歴のすべて（外国出張も含む）について記入し、職名もしくは身分も明記して下さい。職歴の欄が不足する場合は、別用紙（A4サイズ、各自で用意）に記載し、添付して下さい。

例：平成 2年5月 〇〇大学医学部附属病院，研修医
平成 4年4月 〇〇大学医学部附属病院，医員（〇〇科）
平成 8年4月 県立〇〇病院〇〇科，医員
平成10年4月 米国〇〇大学，〇〇研究所，特別研究員
平成11年4月 〇〇大学医学部，助手（〇〇講座）
平成16年4月 〇〇大学医学部，講師（〇〇講座）
平成18年4月 国立〇〇病院，〇〇科，医長
平成21年4月 〇〇大学医学部，准教授（〇〇講座）

(5) 学会及び社会における活動等の欄には、本人の専攻，研究分野に関連した事項，社会活動の事項及びその時期について記入して下さい。

例：平成10年4月～現在 〇〇学会会員
平成21年4月～現在 〇〇学会評議員

(6) その他の欄には非常勤職歴，その他の参考事項を記載して下さい。

例：平成16年4月～18年3月 〇〇大学医学部，非常勤講師
平成21年4月～23年3月 〇〇省〇〇委員会，委員

(7) 賞罰の欄には学会賞等を記載して下さい。ない場合は、「なし」として下さい。

例：平成22年6月 〇〇学会〇〇賞受賞

「研究業績」の記載要領

1. 論文発表

- (1) 共著の場合は、著者全員の氏名を記入し、本人の所に一重下線 (Corresponding Author の場合は二重下線) を引いて下さい。著書の分担執筆にあたっては、編集者名を記入して下さい。
- (2) 主要原著論文(10編)については、当該番号を○で囲んで下さい。
- (3) 学位論文は当該番号を◎で囲んで下さい。
- (4) 記載は以下の区分に分類し、古い順に、著者名、論文名、雑誌(ないし出版社)、巻(ないし版)、頁～頁、年号を、以下の例にならって、記入して下さい。
- (5) Index Medicus に収録されている欧文医学雑誌に関しては、略名を使用願います。
- (6) 欧文総説、欧文原著及び欧文症例報告については、年号の後に最新の I F (2016 年) を記入して下さい。

欧文著書

1

Yonago Y:

Carcinoid of the stomach.

In: Gastric cancer. Tottori T(ed) pp121-131

Springer-Verlag, Tokyo, 1993.

和文著書

1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

〇〇の臨床病理

〇〇の疾患, 竹山 登編. pp54-60, 第2版,

凸凹出版, 東京, 1992.

欧文総説

和文総説

欧文原著

1

Tottori H, Yonago Y, Nishi P, and Tanaka A:

Massive necrosis in human transplanted organ.

Clin Pathol 77:22-88, 2011. doi: 10.1145/clin.pathol.16322150.

IF=2.504

2

Yonago Y, Satake G, and Sasaki H:

Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and electron microscopic studies on 100 cases.

J Pathol 22:37-43, 2013. doi: 10.1590/j.pathol.2013.11, 028.

IF=11.95

和文原著

1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

〇〇に関する臨床病理学的研究

〇〇会誌 44:21-26, 1988.

欧文症例報告

1

Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, and Tottori T:

A case of pulmonary artery hydatid cyst observed on MR imaging.

Am J Med Imag 34:325-329, 2010. doi: 10.1136/ajmi.2010.0003268.

IF=5.321

和文症例報告

1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

特異な経過を示した〇〇の一例

臨床生物 22:21-26, 1989.

その他

(研究報告書, 特許等)

2. 学会発表

(1) 国内学会発表は特別講演, シンポジウム, ワークショップのみ記載して下さい。

国際学会は一般演題も記載して下さい。

(2) 共同演者の場合は, 発表者全員の氏名を記入し, 本人の所にアンダーラインを引いて下さい。

特別講演

1

鳥取太郎, 米子康夫, 安田花子:

〇〇の臨床病理

第54回日本〇〇学会, 東京, 4月, 1992.

シンポジウム

ワークショップ

国際学会

1

Yonago Y, Yasuda H, Fujii K, and Tottori T:

Tubular adenoma in human stomach. An immunohistochemical and electron microscopic studies on 100 cases.

20th International Congress of Cancer Pathology, New York August, 1989.

3. 科学研究費等研究助成金の交付実績

科学研究費等の交付実績について, 助成金の種類(科学研究費補助金/厚生労働科学研究費補助金/その他)ごとに以下の内容を交付年度の古い順に記載して下さい。

①研究助成金の名称と種別, ②課題, ③交付年度, ④交付金額, ⑤代表者・分担者の別